

長岡京ガラシャ祭 2022 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

ガラシャ祭は、今年度、3年ぶりに開催し、29回目を迎えます。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、対策を行い、スタッフ、出演者を含む関係者や来場者の方が安心して参加できるお祭りにするのが大切です。来年度以降も長く続く市民まつりとなるよう皆様のご協力をお願いいたします。

1. 飛沫の抑制

- ①ガラシャ祭に参加するすべての参加者、スタッフ、来場者（観覧者）は、適切なマスク（不織布素材の推奨）の着用や大声を出さないことを徹底する。
- ②マスクを着用しない、大声を発する等の行為をする者がいた場合には、主催者は個別に注意等の措置を講じるものとする。

【具体的な対策】

- ・ イベント会場でのマスクの販売等
- ・ 事前の周知徹底

2. 手洗い、手指・施設消毒の徹底

- ①主催者は、こまめな手洗いや手指消毒の徹底を促すよう対策を講じるものとする。
- ②関係者（スタッフ・出店者等）、出演者および来場者（観覧者）は、こまめな手指消毒を行う。
- ③主催者は、施設内や多くの人に触れる部分等について、こまめに消毒を実施する。

【具体的な取り組み】

- ・ 会場出入口に消毒液、検温器を設置する。
- ・ 飲食物を扱うスタッフと飲食する者は、必ず消毒を行う。
- ・ 人がよく触れる場所は、1時間に1回消毒を行う。
- ・ 飲食スペースは、使用の都度スタッフが消毒するか、利用者が消毒できるよう対策を講じる。
- ・ こまめな手洗いや、手指の消毒が実施されるように会場内でアナウンスを行う。

3. 換気の徹底

- ①室内において準備等を行う際には、常時換気またはこまめな換気を徹底する。(1時間に2回以上・1回に5分間以上)

4. 来場者間の密集回避

- ①主催者は、来場者の入退場時の密集を回避するための人員配置や動線の確保等の体制を構築する。
- ②主催者は、出演者等が飲食する際や待合場所等で密集することがないように、場所の確保等の対策を講じる。
- ③主催者は、イベント開催にあたり、人と人が触れ合わない間隔を確保できるよう余裕を持ってスペースを確保する等、体制を構築する。

【具体的な対策】

- ・イベントブース等の待合で人が密集しないよう、警備員等を配置するとともに足跡マットやコーン、ポール等を用いて動線の確保を行う。
- ・人と人との間隔を空けて行列を行う。
- ・来場者には事前に混雑場所をアナウンスし、分散して観覧してもらう。
- ・出演者の着替え等において、密集が起こらないよう時間に差をつけるとともに、新たな場所の確保を行う。

5. 飲食の制限

- ①主催者は、飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）を徹底する。
- ②飲食中以外のマスクの着用を徹底する。
- ③長時間マスクを外す飲食は、隣席の飛沫感染のリスクを高めるため、飲食専用エリア以外は自粛するよう周知・アナウンスを行う。
- ④安全なイベント開催のため、飲酒による大声発生等の問題発生時の酒類提供中止等の対策を行うことを事前に周知する。
- ⑤最終的には、京都府および長岡京市の要請に従い、飲食・酒類提供の可否を判断することとする。

【具体的な対策】

- ・感染対策を施した飲食スペースを設け、ルールを守って飲食してもらえよう場所を確保する。
- ・ルールを守らない人には個別に注意を促す。

6. 参加者・関係者・来場者等の感染対策

- ①主催者および各種参加団体は、有症状者（発熱または風邪等の症状がある者）

が出演・練習を控えるよう日常から関係者やスタッフ等の健康管理を徹底する。

- ②主催者および各種参加団体は、練習時、準備時等、声を発するスタッフ等の関係者間での感染リスクに留意し、対策を徹底する。
- ③来場者は、自己管理、自己責任のもとに観覧等いただく。

【具体的な対策】

- ・練習や出演の際は、事前に検温を行うこととする。37.5 度以上の発熱がある人は、会場内への入場、参加を控えて帰宅してもらう。
- ・体調がすぐれない人が参加しないよう、事前に周知徹底する。
- ・アナウンスや看板等での啓発を通して、マスクの着用や周囲の人との間隔の確保等を促す。
- ・事前の広報により、来場者には接触確認アプリ（COCOA）のインストールについて周知する。

7. 関係者の把握・管理等

- ①主催者および各種参加団体は、出席者を把握するとともに、連絡先を確認し、いざという時に連絡が取れるよう1か月間は保管する。
- ②主催者は、入場時の検温、有症状（発熱または風邪等の症状）等を理由に参加できなかった際の参加料は払い戻すこととする。
- ③主催者は、屋内や出入口が狭隘な場合に施設等の時差入退場の実施やイベント前後での感染対策防止のため、直行・直帰を周知・アナウンスする。

【具体的な対策】

- ・練習や参加の都度、出席者を把握する。
- ・有症状を理由に参加できなかった方には、出演料を返金する等の制度を事前に設定し、案内する。

8. 開催判断

ガラシャ祭の開催、中止の判断にあたっては、国・京都府の対応に準ずるほか、以下を目安に行うこととする。

また、まん延防止等重点措置および緊急事態宣言期間となった場合は、中止とする。

レベル	判断基準の目安
4	中止
3	協議（規模縮小等）または中止

2	実施
1	実施
0	実施

※レベルは、京都府モニタリング指標

上記内容については、イベント当日に限らず、準備・練習等にあっても遵守し、ガラシャ祭の開催によって、感染が拡大するようなことがないように全員が徹底し、意識してください。

特にワクチン接種が行えていない関係者については、留意すること。